

裁判官が病院に法廷侮辱を宣告：瀕死の女性にイベルメクチンを与えよ

もしくは1日1万ドルの科料とする

Jack Phillips | The Epoch Times

December 16, 2021

<https://www.infowars.com/posts/judge-holds-hospital-in-contempt-give-ivermectin-to-dying-woman-or-pay-10000-a-day-fine/>

ある裁判官が、イベルメクチンの処方拒否された Covid-19 患者からの訴えを認めて、バージニアの Fauquier 病院を、法廷侮辱罪と裁断し、病院は、火曜日、法廷の命令に従うと言った。<https://www.theepochtimes.com/t-ivermectin>
<https://www.theepochtimes.com/t-virginia>

患者であるキャスリーンの息子 Christopher Davis は、「Fauquier タイムズ」に談話を発表し、普通、寄生虫治療に使われるイベルメクチンの2回分が、月曜日午後8時45分、この女性に投与されたと話した。「エポック・タイムズ」は、F病院に連絡しコメントを求めた。

https://www.fauquier.com/news/update-fauquier-hospital-reports-it-has-complied-with-court-order-asks-for-contempt-order-to/article_8cb9853e-5c3d-11ec-8635-376fda43665b.html#comments

これは、バージニア州第20裁判所の James P. Fisher 判事が、月曜日、ある命令にサインした後のことで、その内容は、F病院を、法廷侮辱罪で断罪し、「病院が、不必要に要求を介入させ、患者が医者の研究用薬品の投与を希望するのを、妨害した」とするものだった。
<https://pbs.twimg.com/media/FGhbXgdXwAI6JcF?format=png&name=900x900>

さらに法廷は、「問題の重大さにかんがみ、病院は遑って、法廷命令が出た日付以降の、1日1万ドルの科料を支払う」ことを命令した。これは、病院がデイヴィスのために、イベルメクチンを処方しなかった、すべての日の間、罰金を払わなければならないことを意味する。

患者の家族は、彼女の命を救う最後の手段として、Covid-19 治療のためのイベルメクチンを病院に求めている。デイヴィスの家庭医師は、イベルメクチンを彼女に処方していたに

もかかわらず、F 病院は、このドラッグを投与することに抵抗し、医学的、法的、その他の懸念を理由にあげていた。患者の家族は、12 月 6 日に法的手段を取り、病院にこれを強制させる訴訟を起こしたのだと、Fauquier タイムズは報じている。

「これは生きるか死ぬかの問題です」と、クリストファ・デイヴィスはこの新聞に話した。「彼女は死の床にある。[イベルメクチンに] どんな否定的反応があるかの話ではなかった。」

そして、すべての治療オプションに効き目がなかったので、家族はこのドラッグを試みることにした、とデイヴィスは言った。

「私にはわかります。病院の医者たちは怖がっているのだ。これは政治的な問題になっていますからね。私は病院を訴える気はないのだ。私はただ、ひょっとして望みがあれば、というつもりで使ってほしいのだ」と彼は言い、イベルメクチンを COVID-19 治療に使うことに関わる論争に言及した。

「彼らはこれを、病院の権利と、市民の権利の戦いだと考えている。彼らは、彼らの権利が市民の権利を踏みにじるかのように思っている」と、デイヴィドは続けた。

この裁判官の判決の 1 日後に、デイヴィドの弁護士 Ralph Lorigo は言った：

「この裁判官は英雄だ。彼にはガッツがあった。気概があった。彼は自分の言ったことを通す強固な意志を持っていた。」

F タイムズへの長い声明の中で、F 病院のスポークスウーマン Sarah Cabbage は、この病院はいま裁判官の命令に服従しつつあり、彼の法廷侮辱に対する命令は、取り消してもらおうとしていると言った。

「他のすべての病院と同じように、我々は、患者たちのケアを安全にするために、いかに活動するかを指令する、ルールと規制によって縛られている」と、カベッジは声明で述べた。

「法的な規制の観点から、我々は常に、我々の施設において、医者の道を実践するための、信用され、かつ特権をもつ、正しい道を歩かなければならない。・・・これは患者を保護し、質の高いケアを一貫して確保するためである。」

そこから更に彼女は、議論を進めて、病院は「医者を強制して、彼らの臨床的判断に逆らう治療を命じたり、ケアについての認められた医療規準を、はみ出させることはできない」と言った。

フィッシャー判事の命令については、カベッジは、法廷は病院に対し「追加のガイダンスを与え明瞭化し」、それに合意することができたと言った。

「我々はこのことを法廷に報告し、法廷侮辱による命令については消去を要請した」と彼女の声明は加えている。

米食品医薬品局（FDA）は、いろいろな寄生虫とともに、腸の strongyloidiasis と onchocerciasis の治療に、Ivermectin を承認している。このドラッグは、COVID-19 の治療用としては、この役所は承認していない。しかし深刻な病状の COVID-19 患者の中には、これを使った後で、明かにすぐれた結果が出ている人たちがいる。

https://www.theepochtimes.com/mkt_app/dying-covid-19-patient-recovers-after-court-orders-hospital-to-administer-ivermectin_4130754.html

FDA が米郵便事業と結託、イベルメクチンの出荷を破壊

Infowars.com

December 14, 2021

<https://www.infowars.com/posts/report-fda-colludes-with-us-postal-service-to-destroy-ivermectin-shipments/>

⇒FDA の手紙が示す：国内行きのイベルメクチンの出荷物が、国際入港のさい、横取りされる。

米食品医薬品局（FAD）が米郵便サービスと結託し、Covid に高い効果を示すイベルメクチンを、国内行きの国際出荷物から取り押さえようとしている、と社会メディアの回線が知らせた。

オンラインで通話されている FDA の手紙によると、米連合規制諜報部が、イベルメクチンの出荷物が、入港管理を通じて入ってきたさい、意図された受取人に届かないようにブロックしていた。

「ある外国からあなたに宛てられた出荷物品が、米食品医薬品局（FDA）の要請により、郵便局によって差し止められています」と、Aaron Siri 弁護士に送られた、1 通の手紙には書かれている。

この手紙によると、“Iverheal ivermectin tablets”の 200 タブレットを含むパッケージが、2021 年 11 月 9 日、入港した JFK 空港において、横取りされた（intercepted）。

別の手紙では、FDA が、去る 8 月に、“Iverpact 12”の 300 タブレットを横取りした。彼らはこれを、「合衆国への入国許可を拒否されたもの、管理当局に破壊を指定されたもの」だと言った。

FDA の米郵便サービスとの結託のニュースは、[この効果ある薬品や、他の Covid-19 症候の初期治療薬を求める人々が、増えるにつれて、現れている。](https://www.nbcwashington.com/news/coronavirus/coronavirus-in-virginia/judge-rules-hospital-cant-block-treatment-of-covid-19-with-ivermectin/2909936/)

<https://www.nbcwashington.com/news/coronavirus/coronavirus-in-virginia/judge-rules-hospital-cant-block-treatment-of-covid-19-with-ivermectin/2909936/>

一方、FDA は、恐怖を煽る彼らのキャンペーンをずっと継続しており、アメリカ人に対し、Covid 治療のための「馬の虫下し」を用いてはならない、それは正式に認可されていないのだから、と忠告している。

<https://www.fda.gov/consumers/consumer-updates/why-you-should-not-use-ivermectin-treat-or-prevent-covid-19>

CDC が認める：イベルメクチンは 1 年半後に効くかもしれない

<https://banned.video/watch?id=617610dbb48cdd1309da36bb>

[訳者 Greatchain より]

イベルメクチン（Ivermectin, アイヴァメクチン）の実態については、ここで何度も取り上げた。Covid に対するその効力が歴然としていながら、それがひた隠しにされている。先日の悪辣きわまる米政府の暴露ニュース「Covid プランデミックをついに暴く——カネの流れを追え」では、現米政府が、有害で人々を死に至らしめる

薬や処方には、病院や医者に、特別報償を出す、「イベルメクチンのような」よく効く薬は、故意に省かれていることがよくわかった。

この他にも、米議会議員のかなりの者が、イベルメクチンを用いているが、それは一般人民には嚴重に口封じされている、というニュースがあった。また、何を用いても病状が改善せず、ただ一つ残ったこの不評の薬を用いて、奇跡のように快癒したという、この最初の話とほとんど同じ話もあった。

ここに紹介した2つの関係記事の、後者の暴露ニュースによって、いよいよはっきりと米政府の犯罪が明かになった。そこには、ワクチンの安全性を認め許可する、アメリカの権威的役所 FDA が関わっていた。彼らは何をしたのか？ 彼らはイベルメクチンという Covid 治療薬の効果が、世界中に喧伝されることに危機感をもった。なぜか？ 世界中に健康な人が増えて、Covid-19 という彼らの大切な悪魔的道具が、使えなくなるとは困るからである。そこで彼らは、連邦郵便サービスと結託し、輸入されたイベルメクチンの積み荷を、権力を用いて理屈を並べ、押収して破壊しようとしたのである。よく読んでいただきたい。

「民衆が健康になっては困る、死に至る病人がいなくなるとは困る」という先日の記事の、米政府（特にファウチ）の論理が、ここに共通のものとして明らかになった。この者たちと協力して国政を進めようとされる方々は、どう思われるであろうか？ 押収され破壊されるのは物品ではない。それは人の命である。